

民間ポイントサービスに係る マイキープラットフォーム活用

総務省「マイキープラットフォームによる地域活性化方策検討会」
への提案・課題その2

2016年4月28日

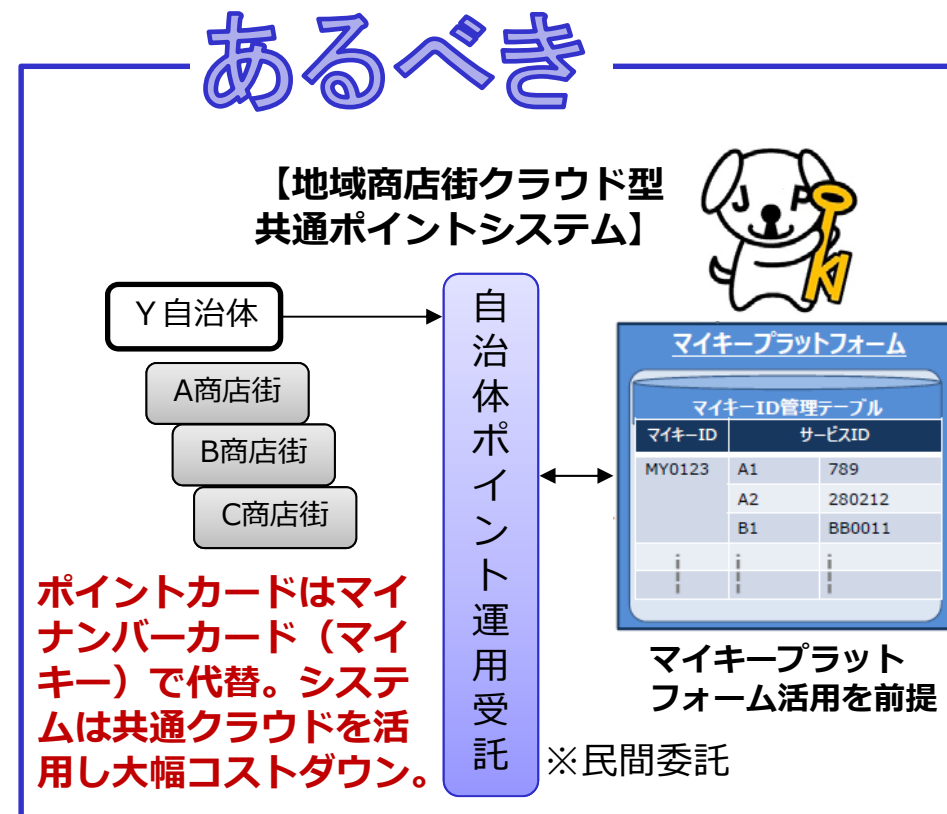
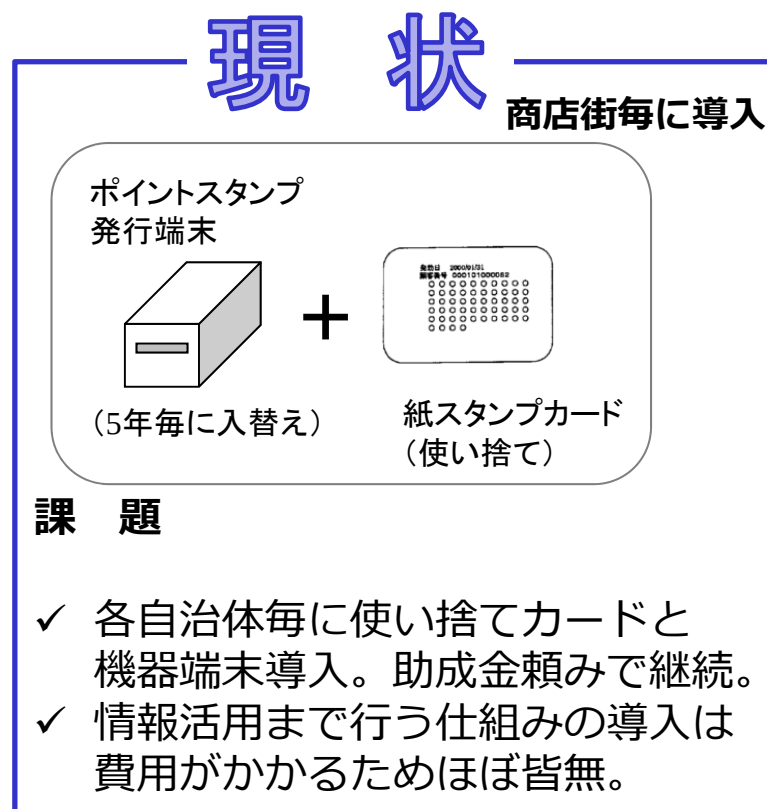
株式会社**エムズコミュニケイト**

代表取締役社長 岡田 祐子

地域商店街ポイントカードの現状とあるべき姿

全国約3割が実施中、1割弱が取組中または検討中※の地域商店街ポイントカード（含紙スタンプカード）であるが、助成金頼り。
地域経済活性化のために自立型、且つ継続型への根本的な構造転換が必要。

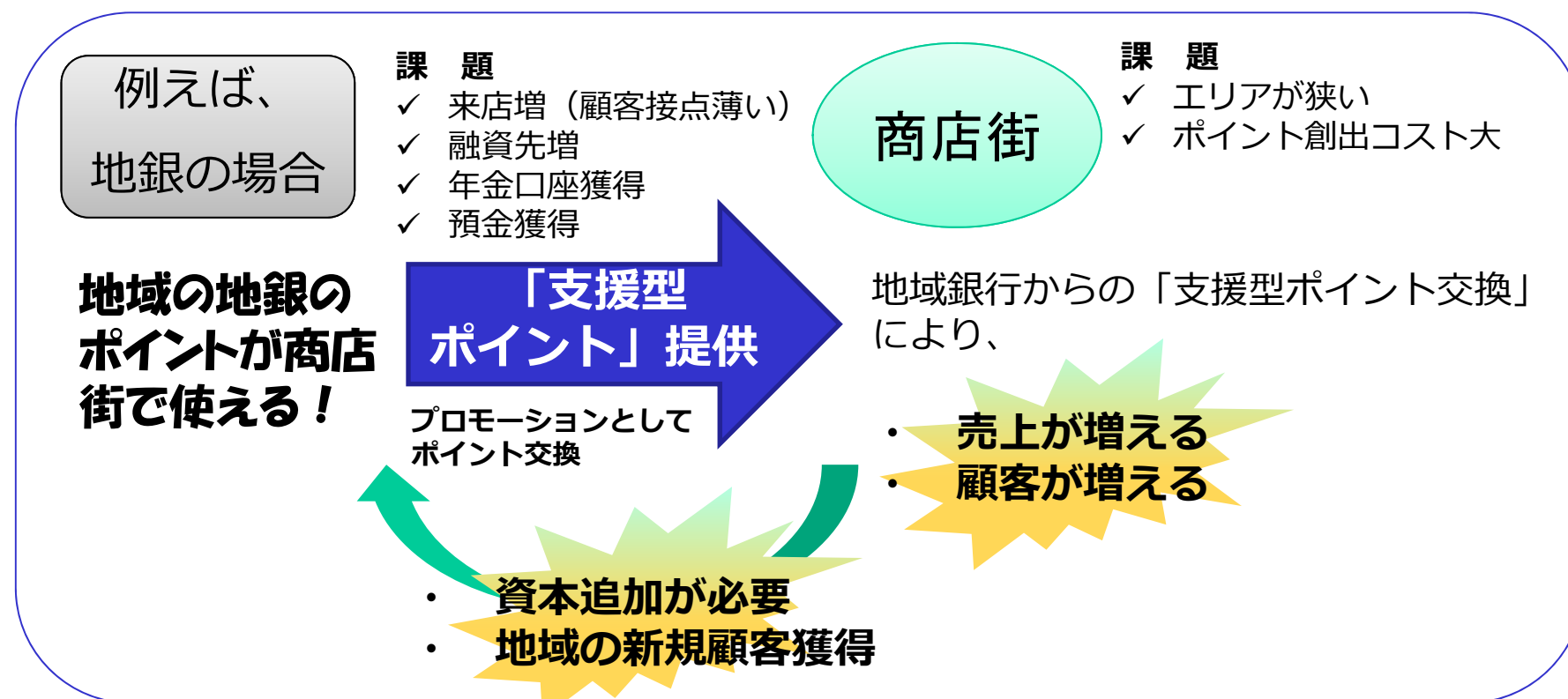
※（出典：平成27年度商店街実態調査報告書）



民間ポイントの一部を「支援型ポイント」として地域に流入させるモデル

※下記は「地銀⇒商店街の支援型ポイント」モデル案

- 【支援型ポイント参加企業】
- ✓ 未利用ポイントが多い企業
 - ✓ 出口（交換）に課題のある企業
 - ✓ 社会貢献拠出として賛同する企業



「支援型ポイント」を機能させるために必要な事項

**利用者は保有しているポイント残高を知り、その上で交換に至る。
⇒利用者に対してポイント残高照会とポイント交換機能の提供が重要**

よって、連携企業が提供する「支援型ポイント」を地域商店街ポイントへ交換を促進する場合、それぞれのポイント残高が照会できる機能と地域商店街ポイントへ交換できる仕組みがないと成り立たない。

【活性化のための必要機能】

＜ポイントポータル（仮称）搭載機能＞

①ポイント家計簿機能
（ポイント残高照会機能）

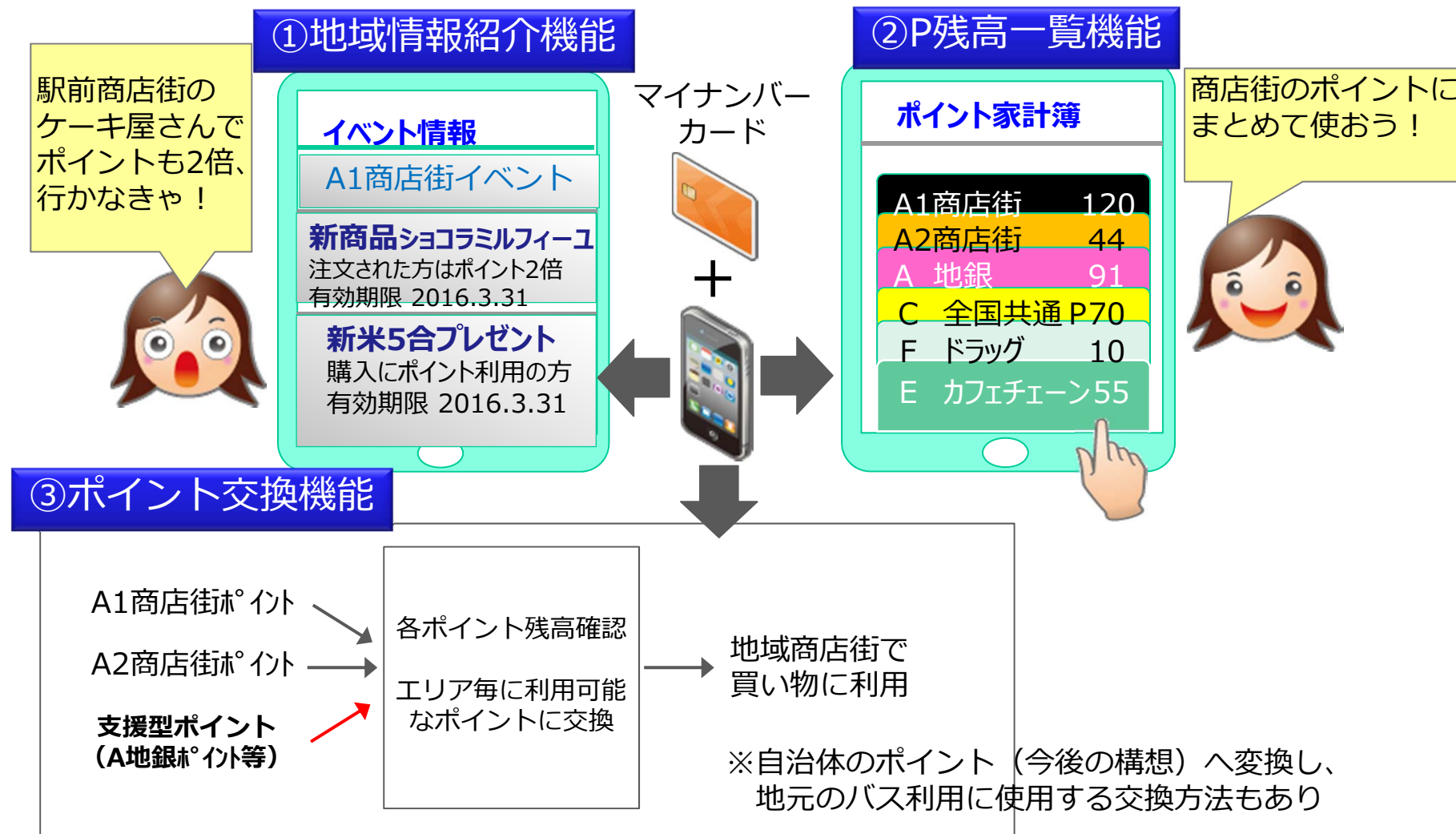
②（支援型）ポイント交換機能

①と②はセットで機能
①だけでは②が機能しない

+ ③地域の情報提供機能 = プラスα付加価値

地域ポイントポータルのイメージ

- 自治体毎などのお住まいのエリア単位で利用者が利用しているポイントの残高確認ができてはじめて交換が促進され、ポイントを起点とした商店街の買い回りを促進できる。



M's Communicate®

The diagram illustrates the Mykee system architecture, showing the flow of data and services between a shop (A商店街), a user (利用者), and the Mykee platform (マイキープラットフォーム).

Shop (A商店街): The shop is represented by a green box labeled "A1商店ポイント管理". It contains a "店員" (Staff) who uses a "サービス端末" (Service terminal) with "R/W" (Read/Write) capabilities. The shop also provides "マイナンバーカード" (My Number Card) services.

User (利用者): The user is represented by a green box labeled "マイキーID MY0123". They use a "マイキーID" (Mykee ID) and a "マイナンバーカード" (My Number Card) to interact with the system.

Mykee Platform (マイキープラットフォーム): The platform is represented by a blue box labeled "マイキーID管理テーブル" (Mykee ID Management Table). It contains a table with the following data:

マイキーID	サービスID	
MY0123	A1	789
	A2	280212
	B1	BB0011
...	...	...
	...	...
	...	...

The platform also includes a "マイキーID管理テーブル" (Mykee ID Management Table) and a "サービスID" (Service ID) management system.

Point Portal Site (ポイントポータルサイト): The portal site is represented by a green box labeled "ポイントポータルサイト (ポイント家計簿/交換所/情報提供)". It receives "サービスID" (Service ID) data from the platform and provides information to the shop, nearby shops (A近隣のB商店), and the local bank (B地銀).

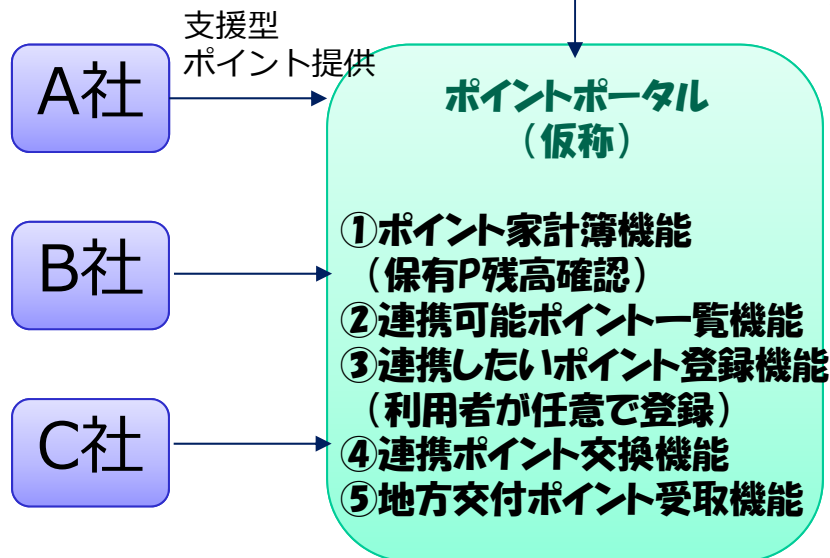
Other Components: The diagram also shows "民間認定事業者" (Private Certified Business Operator) and "JPKI" (Japan Payment Clearing Institute) involved in the system's operation.

※サービスIDが機微な個人情報（クレジットカード番号や銀行口座番号）にあたる場合は、マイキー連携用符号で承認管理する。（連携符号はクレジットカード会社、銀行側で発行する）

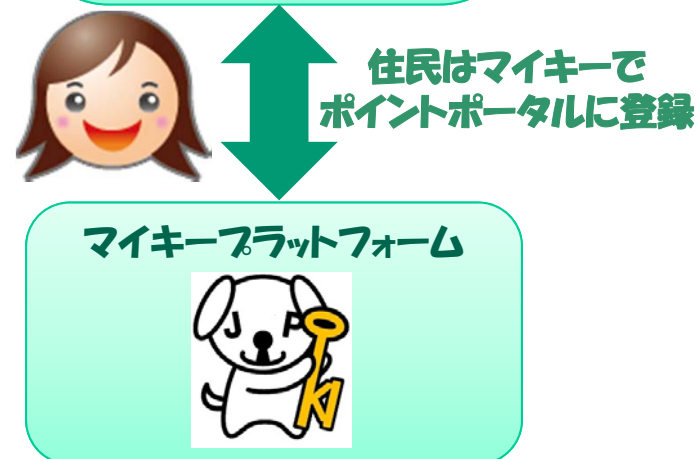
運用イメージ

※地方交付金も今後ポイントで発行可能（自治体ポイント）

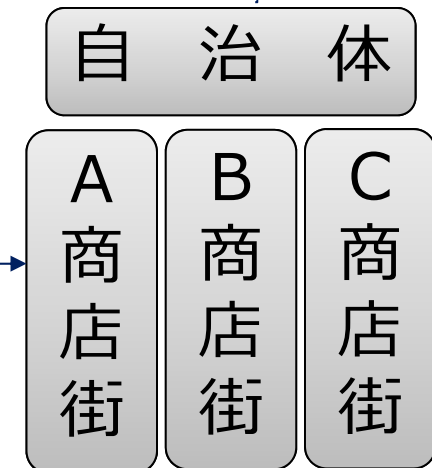
【支援型ポイント参加会社】



【地域商店街クラウド型 共通ポイントシステム】



自治体ポイント受託事業者



※自治体より委託

※クラウド型ポイント
システムを採用して
いない地域商店街が活用

地域毎に支援型ポイントを地域商店街ポイントに交換するモデルは、活性化、規模拡大に限度がある。

⇒地域商店街での利用では規模が小さすぎる等のため、
支援型ポイント会社にとってのメリットが薄く、多くの支援型ポイントが集まりづらい

全国レベルの拡大のためには、
大都市圏に集まっている多くの
未利用ポイントを市中に流通さ
せる仕組みをさらに組み合わせ
ることが必要！

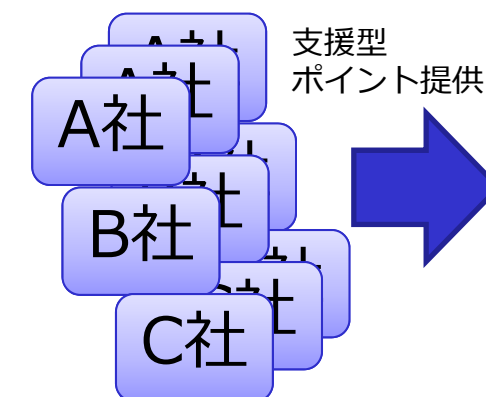


＜解決案＞

ポイントは交換されてこそ企業は発行した意味がある。ポイント交換に魅力がなく、未利用ポイントを多く持つ民間企業は一部のポイントを「支援型ポイント」として地域貢献に活用する出口を用意し、大都市圏住民が持つ多くの未利用ポイントが地域経済活性化に活用されるモデルを検討すべき。

未利用ポイントの地域貢献活用モデル 展開イメージ

【支援型ポイント参加会社】



支援ポイント交換ポータル (仮称)

- ①支援型ポイント実施企業一覧
- ②(ユーザーが利用している)
 - ①の保有残高ポイント確認
- ③②の支援ポイントおまとめ交換
- ④支援先・支援内容一覧
- ④支援先・支援内容選択
例) 地域商店街ポイント
地方特産品
サンプル品交換



【支援先地域】

A地域

B地域

C地域

支援地域A
復興支援の寄付金
に交換

支援地域B
B商店街による
旬な特産品に交換

支援地域C
C地域旅行券に交換



本格展開時の追加機能

マイキーで
ポータルに登録



「支援型ポイント」交換賛同者

- 例) 首都圏に住んでいるが、
- ✓ 復興支援がしたい
 - ✓ 出身地域を応援したい
 - ✓ 地方を応援したい

地域情報発信機能

ポイント家計簿機能※

行政ポイント受取機能
(地方交付金)

エリア限定決済機能

マイキープラットフォーム

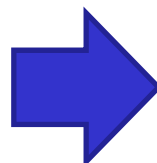
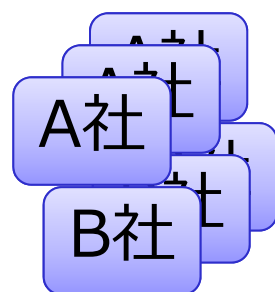


個人認証管理

※ポイント家計簿機能
支援型ポイント参加企業以外の
利用ポイント残高も確認できる機能

経済活性化のための未利用ポイントの交換活性化モデル

全国主要民間ポイント会社
(支援型ポイント参加会社含む)



ポイント家計簿 (交換ポータル)

ポイント家計簿機能※

行政ポイント受取機能
(地方交付金)



交換先①



【自分が最も利用している
ポイントに交換】(以下、例)

支援ポイント交換機能

- ① 支援型ポイント実施企業一覧
 - ② (ユーザーが利用している)
 - ③ ②の保有残高ポイント確認
 - ④ ②の支援ポイントおまとめ交換
 - ③ 支援先・支援内容一覧
 - ④ 支援先・支援内容選択
- 例) 地域商店街ポイント
地方特産品
サンプル品交換

交換先②

【支援先地域】

復興支援地域

出身地域

関心ある地域

地域情報発信機能

エリア限定決済機能



「支援型ポイント」参加企業

- ✓ 未利用ポイントが多い企業
- ✓ 出口(交換)に課題のある企業
- ✓ 社会貢献拠出として賛同する企業

※ポイント家計簿機能
国内の主要ポイントのポイント残高が
確認でき、好きなものに交換できる機能

最後に～ID統合とポイントの集約における重要ポイント

今後、各自治体で各種カードを一つに集約していく際、ポイントサービスも集約する過程が発生する。また、自治体ポイントが広がった場合、お金の側面のポイントとそうでないポイントが混在する現象が生じる。その際、ポイントサービス起点からの留意点と検討すべきポイントは以下の通り。

＜ポイントサービスの基本＞



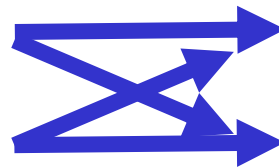
ためる楽しみ

(ポイントの付与・提供)

使う喜び

(ポイントの交換・出口)

- ・ お金としてのポイント
(自治体ポイント他)
- ・ お金ではないポイント
(健康ポイント他)



- ・ お金として使用
- ・ お金ではない形で使用

ポイントの集約していく過程においては、各ポイントがどのようなものとして使われているのかを上記考え方を踏まえ整理し、統合していくことが必要。その他、本人がためたポイントを家族も利用できるルールにするのか、有効期限を設けるのか否かなど、検討ポイントをマニュアル化し、各部門で共有認識をもって検討を進めることも需要。

ID統合とポイント設計は切っても切り離せないものとして捉えるべき。